大型 MICE 施設の早期実現及び西原・与那原地域の交通基盤整備を求める決議

沖縄県は、平成 27 年（2015 年）5 月、大型 MICE 施設の建設地として、西原町及び与那原町にまたがる中城湾港マリンタウン地区を決定した。

大型 MICE 施設は、国内外から多くの人や企業を呼び込み、観光、宿泊、飲食、商業、交通をはじめとする幅広い産業への経済波及効果をもたらすとともに、マリンタウン地区を核として沖縄本島東海岸地域の振興を牽引する重要なプロジェクトである。

また、沖縄県においては、東海岸地域に新たな振興の流れを生み出す「東海岸サンライズベルト構想」を掲げ、東海岸地域の活性化と「県土の均衡ある発展」を目指している。その中でも、西原町及び与那原町にまたがるマリンタウン地区は、大型 MICE 施設を核として新たな交流や産業を創出する重要な拠点として、その役割が期待されている。

建設地決定後、西原町及び与那原町においても、大型 MICE 施設の整備を見据えたまちづくりが進められ、平成 29 年（2017 年）には「マリンタウン MICE エリアまちづくりビジョン」が策定されるなど、地域としてその実現を長年待ち望んできた。

しかしながら、当初は令和 2 年度（2020 年度）の供用開始が目指されていたものの、建設地決定から 10 年以上が経過した現在においても施設は完成しておらず、事業は大幅に遅れている。現在、沖縄県においては基本計画を改定し、令和 15 年（2033 年）上半期の供用開始を目指しているが、地域振興や民間投資への影響を考えれば、これ以上の事業の遅延は避けなければならない。

さらに、大型 MICE 施設の効果を最大限に発揮し、東海岸サンライズベルト構想を具体的に前進させるためには、施設整備だけではなく、人流を支える公共交通と道路交通ネットワークの整備を一体的に進めることが不可欠である。

特に西原町及び与那原町を中心とする地域は、自動車交通への依存度が高く、大型 MICE 施設の供用やマリンタウン地区の発展による新たな交通需要への対応が大きな課題となる。

そのため、沖縄県が検討を進める新たな交通体系において、沖縄都市モノレールの西原町・与那原町方面への延伸を具体的な選択肢として位置付け、定時性、速達性及び大量輸送性を備えた公共交通軸の形成について検討を進める必要がある。

また、道路交通については、大型 MICE 施設へのアクセス機能を高める国道 329 号南風原バイパス及び与那原バイパスの早期 4 車線化を進めるとともに、与那原バイパスと国道 329 号との交差部についても、大型 MICE 施設の整備やその後の地域開発、将来的な交通需要を踏まえ、立体交差化について改めて検討する必要がある。

大型 MICE 施設の早期実現を起点として、公共交通及び道路交通の両面から交通基盤を強化することは、西原町及び与那原町のみならず、東海岸地域全体への新たな人流、企業立地、民間投資を呼び込むものであり、「東海岸サンライズベルト構想」の実現、ひいては沖縄県全体の「県土の均衡ある発展」につながるものである。

よって、国及び沖縄県においては、下記事項について強力に取り組むよう要請する。

記

１　大型 MICE 施設の早期実現

平成 27 年（2015 年）の建設地決定から 10 年以上が経過し、当初計画から事業が大幅に遅れていることを踏まえ、大型 MICE 施設の早期実現に向けた事業スケジュールを明確にし、必要な財源の確保及び事業者選定等を着実に進め、これ以上の事業の遅延を招かないよう最大限取り組むこと。

２　沖縄都市モノレールの西原町・与那原町方面への延伸の検討

東海岸サンライズベルト構想の実現及び大型 MICE 施設への交通アクセスの充実を図るため、沖縄県が進める新たな交通体系の検討において、沖縄都市モノレールの西原町・与那原町方面への延伸を具体的な選択肢として位置付け、需要予測、ルート、事業費及び整備効果等について調査・検討を進めること。

３　国道 329 号南風原バイパス及び与那原バイパスの早期 4 車線化

大型 MICE 施設の供用及びマリンタウン地区の発展に伴う将来的な交通需要に対応し、東海岸地域の道路交通ネットワークを強化するため、国道 329 号南風原バイパス及び与那原バイパスについて必要な予算を確保し、計画されている 4 車線化を早期に実現すること。

４　国道 329 号与那原バイパス交差部の立体交差化

大型 MICE 施設の整備、マリンタウン地区の発展及び将来的な交通需要の変化を踏まえ、国道 329 号与那原バイパスと国道 329 号との交差部について、当初計画されていた立体交差化を改めて検討し、その実現を図ること。

以上、決議する。

令和８年１０月１９日

沖縄県西原町議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長